

検査概要

VRやAR等の最先端技術に対応致します。ヘッドマウントディスプレイに映し出されたコンピューターグラフィックスや音響効果から仮想空間を体験できる技術です。ゲームなどのエンターテインメント分野のイメージが強いですが、現代の産業において、医療や自動車など幅広いシーンで活用されています。

機能概要/特徴

ヘッドマウントディスプレイを利用した仮想空間内での作業指示を行う等、仮想空間を利用した現実空間への利用に役立ちます。
また、検査、品質、生産性向上も期待できます。
用途により個々に利用するシステムをご相談の上、提案させていただきます。

検査の事例

■事例1：バーチャル3Dテレビ

- ・ 現実に置いてあるかのようなバーチャル3Dテレビ
- ・ テレビ画面を仮想的に遠くに見せることで、眼の疲れを軽減

■装置/システム

- ・ HMD（ヘッドマウントディスプレイ）
- ・ 頭に装着するディスプレイで小型で持ち運びが可能
- ・ 生産現場・スポーツ・医療で活躍

■事例2：製造現場における指示システム

AR技術を活用すれば、仮想空間に現れたQRコードを読み取ることで、ウェアラブルデバイスに説明用のマニュアルが表示されたり、連動して音声で解説が読み上げられたり、実現場での作業指示を明確に対応できます。

HMDを用いた現場作業補助システム

AR表示例(伸縮バルーン3種)

- ①文字表示
 - 注意事項
 - ・XXを確認する
 - ・**を解除する
 - ・++を清掃する
- ②動画表示
 - 参照ビデオ
- ③図形表示
 - 参照図面

